

平成 30 年 6 月 6 日

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会 会員各位

理事長 伊藤東洋雄

平成 30 年度定期総会および第 52 回研修会のご案内

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会の平成 30 年度定期総会を開催いたします。
ふるってご参加ください。出欠のご確認は、同封のハガキでご返送ください。

日 時：平成 30 年 7 月 7 日（土）13 時 15 分～13 時 45 分

場 所：こうべまちづくり会館 3F 多目的室 神戸市中央区元町通 4 丁目 2 番 1 4 号

TEL：(078)361-4523 <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

なお、総会議案書は、ホームページ (<http://toshisaigai.net/>) に掲載していますので、ご確認ください。

総会終了後、(一社)福祉防災コミュニティ協会認定コーチ・防災士の湯井恵美子様を講師にお迎えし、防災講演会（第 52 回研修会）を開催します。

なお、この講演会は、会員外にもオープンに致しますので、お誘いあわせの上ご来場ください。

参加費は無料です。

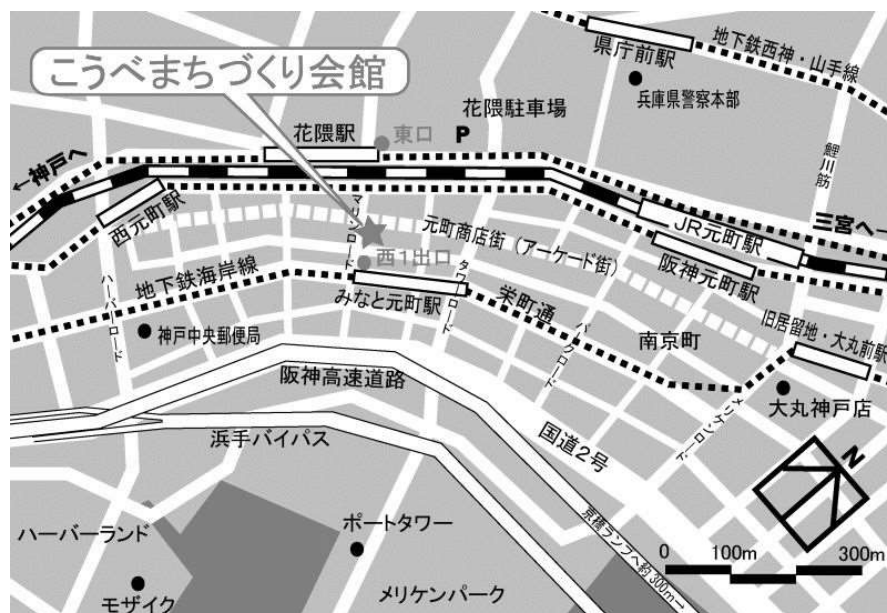
演 題：『熊本地震の被災地支援から学んだこと ～災害ボランティア活動を通して～』

講 師：(一社)福祉防災コミュニティ協会認定コーチ・防災士 湯井恵美子様

日 時：平成 30 年 7 月 7 日（土）14 時 00 分～16 時 30 分

場 所：こうべまちづくり会館 3F 多目的室

※講演会場の準備の都合上、申込み先着 50 名様とさせていただきます。



神戸市中央区元町通 4 丁目 2 番 1 4 号（元町商店街 4 丁目西端の南側角）

TEL：(078)361-4523 <http://www.kobe-sumai-machi.or.jp/matisen/>

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西 1 出口から北へ 1 分

神戸高速 「花隈駅」東口から南へ 3 分 「西元町」東口から東へ 5 分

J R・阪神 「元町駅」西口から西へ 8 分

※駐車場はありませんので、車で来館の場合は市営花隈駐車場（徒歩 5 分・有料）等をご利用ください。

【防災講演会】

テーマ 『熊本地震の被災地支援から学んだこと ～災害ボランティア活動を通して～』

(一社)福祉防災コミュニティ協会認定コーチ・防災士 湯井恵美子様

【経歴】次男は重度の知的障がい者で、大阪府立吹田支援学校 PTA 会長 (H24～H25)、大阪府立支援学校 PTA 協議会会長 (H25)、顧問 (H26) 就任時、障がい児の災害対策について活動を始め、平成 25 年、平成 26 年に大阪府内全ての支援学校校長、防災担当、PTA 会長を対象に「特別支援学校の BCP 作成研修」を企画する。平成 29 年 4 月より兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科、博士前期 課程に在籍、特別支援学校と福祉施設を中心とした福祉防災まちづくりについて研究を進める。現在は、大阪府学校防災アドバイザー、(一社)福祉防災コミュニティ協会認定コーチ (No. 160001)として、支援学校や福祉施設の BCP 作成、BC マネジメント支援などを行っている。平成 28 年 5 月より熊本(西原村他)での被災地支援を継続中。



【講演概要】

平成 28 年 4 月に発生した熊本地震。同地域で震度 7 の激震を 2 度経験したことで家屋全体の 6 割以上が全半壊となった益城町は、日本の被災の歴史においても類を見ない厳しい地震被害となりました。被災した建物の中には複数の医療施設や福祉施設も含まれ、通院、入院、通所といった地域での医療や福祉的ケアの中断が余儀なくされました。

また、熊本県内で平成 30 年 4 月現在の震災関連死として認定された方は 214 人に及びます。未曾有の被災状況とはいえ、熊本県内の局所的な被災であったにもかかわらず、神戸、東北と 2 度の大地震を経験した日本においてなぜ同じ悲劇を繰り返してしまったのでしょうか。今回は、熊本地震の被災地におけるインフォーマルな支援のあり方を通して、「国難」に立ち向かうべき方向性について考えてみたいと思います。

- ・熊本地震についてふりかえり
- ・災害ボランティアセンターとは
- ・災害ボランティアの熊本での活動状況
- ・中間支援組織の挑戦：JVOAD と KVOAD
- ・災害時にコミュニティの果たす役割と現状の課題について
- ・課題解決について思うこと